

地域計画

策定年月日	令和7年3月26日
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	延岡市 (45203)
地域名 (地域内農業集落名)	沖田地区 (小野集落、片田集落、西の迫集落、塩浜集落、下平原集落)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	152.7 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	152.7 ha
② 田の面積	149.1 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	3.6 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	8.5 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	20.1 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	41.2 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	8.8 ha

(備考)

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するよう努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

海拔が低く、湿田が多くなっており、塩害の発生が見られる。農地の区画や道路が狭く、一部の農地では高低差が顕著で用水の確保が困難となっている。そのため、大型農機の導入や高生産性農業の展開が困難であり、県北最大規模の穀倉地帯でありながら、その地域特性を生かせていない。また、農業従事者の高齢化や後継者不在が進んでおり、担い手の確保が急務となっている。
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

地域の主要農産物である水稻を中心に裏作や収益性の高い野菜等への転作にも積極的に取り組み、農家所得の向上を目指す。また、ほ場整備事業の実施により農業生産の合理化と営農条件の向上等、近代化農業に対応しうる基盤づくりを目指し、担い手への農地の集積・集約化を進めることで経営規模の拡大及び経営体质改善を図る。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1)農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針
農地バンクへの貸付けを進めつつ、認定農業者を中心とする担い手への農地の集積・集約化を図るとともに、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。

(2)担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標
現状の集積率 54.9 % 将来の目標とする集積率 67.8 %

(3)農用地の集団化(集約化)に関する目標
担い手が利用する農地面積の団地数及び面積は、35個所、平均436a(令和6年度時点) 団地数の半減及び団地面積の拡大を進める。(令和16年度)

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

農業者及び生産者の機関等による目標を達成するための取組
(1) 農用地の集積・集団化の取組 農地利用最適化推進委員や農地中間管理機構と連携して担い手への農地の集積を進め、将来的な経営農地の集約化、団地化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法 地区内の全農地を担い手へ権利設定するため、農地中間管理機構の更なる活用を推進する。また、所有者の貸付意向と担い手の経営意向を調整することで担い手への面的利用集積・集約を図る。
(3) 基盤整備事業への取組 担い手への農地の集積・集約化を進めるため、沖田地区ほ場整備事業に取り組み、農地の大区画化、用排水路の改修、暗渠排水による乾田化等を令和12年度までに完了させる。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組 行政やJAと連携し、認定農業者や将来の担い手として期待される成年就農者・新規就農者、営農集団や集落営農法人等を確保・育成する。さらに多様な経営体を地域内外から募集し、必要に応じて栽培技術や農業用機械のレンタルなどの支援や農地をあっせんし、相談から定着まで切れ目のない取り組みを展開する。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組 地域内で農作業の効率化を図るため、水稻の育苗作業を「JAみやざき延岡地区本部株式会社地域農業振興支援センター」、防除作業を「延岡スカイサービス株式会社」、畑摺り・乾燥作業を「恒富地域営農集団」、田植え・稻刈り・畑摺り・乾燥作業を「農事組合法人いがた」に委託する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/>	①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/>	②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/>	③スマート農業	<input type="checkbox"/>	④畠地化・輸出等	<input type="checkbox"/>	⑤果樹等
<input type="checkbox"/>	⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/>	⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/>	⑧農業用施設	<input type="checkbox"/>	⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/>	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①基盤整備後の農用地の形状に合わせて、地区内農地全域を網羅するようにワイヤーメッシュ柵等を設置する。また、行政や関係機関と連携して効果的な施工計画を策定し、国庫補助を積極的に活用することで地元負担の軽減を図る。

③スマート農業を取り入れ、ドローンによる牧草等の播種や防除作業、肥料散布等を実施し、作業の効率化を図る。

⑦多面的機能保全活動4組織の積極的な活動により、地主と担い手が共同で農用地、水路、畦畔、農道等の定期的な点検や維持保全作業等を行い、保全管理に取り組む。また、非農家を含めた地域ぐるみで活動することにより、地域の営農環境美化に努める。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「**経営面積**」「**作業受託面積**」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の**経営面積**、**作業受託面積**を記載してください。

3: 農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4: 作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、
経営面積に含めてください。

5.備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努め
てください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	株JA延岡地域農業振興支援センター	育苗作業	水稻等
2	延岡スカイサービス株式会社	防除作業	水稻、飼料作物等
3	恒富地区営農集団	粒摺り・乾燥作業	水稻等
4	農事組合法人いがた	田植え、稻刈り、粒摺り、乾燥作業	水稻、飼料作物等

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)	うち計画同意者数(人・%)
-------------	---------------

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)			
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示
1 認農		水稻、たまねぎ、飼料用米	7.1 ha	0.4 ha	水稻、たまねぎ、飼料用米	8 ha	0.4 ha	B2
2 認農		水稻、きんかん、飼料用米	10.2 ha	5.1 ha	水稻、きんかん、飼料用米	12 ha	6 ha	E2
3 認農		水稻、たまねぎ、飼料用米	17 ha	0 ha	水稻、たまねぎ、飼料用米	18 ha	0 ha	A2
4 認農		水稻、イタリアン、飼料用米	17.7 ha	1 ha	水稻、イタリアン、飼料用米	17.7 ha	1 ha	A1
5 認農		水稻	0.4 ha	0 ha	水稻	1 ha	0 ha	Q1
6 認農		水稻、イタリアン、飼料用米	4.6 ha	0 ha	水稻、イタリアン、飼料用米	10 ha	0 ha	H1
7 認農		水稻、イタリアン、飼料用米	2.9 ha	0 ha	水稻、イタリアン、飼料用米	6 ha	0 ha	G1
8 認農		水稻、イタリアン、飼料用米	2.2 ha	0 ha	水稻、イタリアン、飼料用米	5 ha	0 ha	H2
9 認農		水稻、イタリアン、飼料用米	1.8 ha	0 ha	水稻、イタリアン、飼料用米	2 ha	0 ha	D2
10 認農		水稻、たまねぎ、飼料用米	10.8 ha	0.5 ha	水稻、たまねぎ、飼料用米	10.8 ha	0.5 ha	E1
11 認農		水稻、たまねぎ	1.6 ha	0 ha	水稻、たまねぎ	2 ha	0 ha	F1
12 認農		水稻、たまねぎ	2.5 ha	0 ha	水稻、たまねぎ	5 ha	0 ha	C1
13 認農		水稻、たまねぎ	0.8 ha	0 ha	水稻、たまねぎ	0.8 ha	0 ha	K2
14 認農		水稻、飼料用米	3.2 ha	8.5 ha	水稻、飼料用米	3.2 ha	8.5 ha	F2
15 認農		イタリアン、飼料用米	0.4 ha	0 ha	イタリアン、飼料用米	0.4 ha	0 ha	N1
16 集		イタリアン、飼料用米-稻	0.6 ha	5 ha	イタリアン、飼料用米-稻	1.6 ha	5 ha	N2
17 利用者		水稻、イタリアン、飼料用米	7.3 ha	0 ha	水稻、イタリアン、飼料用米	7.3 ha	0 ha	J1
18 利用者		水稻、飼料米	0.7 ha	0 ha	水稻、飼料米	0.2 ha	0 ha	R1
19 利用者		水稻、たまねぎ	1.1 ha	0 ha	水稻、たまねぎ	2 ha	0 ha	M1
20 利用者		水稻、イタリアン	1.9 ha	0 ha	水稻、イタリアン	1.9 ha	0 ha	I1
21 利用者		水稻	2.5 ha	0 ha	水稻	2.5 ha	0 ha	I2
22 利用者		水稻、飼料用米	5.3 ha	0 ha	水稻、飼料用米	5.3 ha	0 ha	B1
23 利用者		水稻、飼料用米	5.6 ha	0 ha	水稻、飼料用米	5.6 ha	0 ha	C2
24 利用者		水稻	1.5 ha	0 ha	水稻	1.5 ha	0 ha	J2
25 利用者		水稻、イタリアン	0.5 ha	0 ha	水稻、イタリアン	0.5 ha	0 ha	O1
26 利用者		水稻、たまねぎ、飼料用米	3.5 ha	0 ha	水稻、たまねぎ、飼料用米	3.5 ha	0 ha	G2
27 利用者		水稻、たまねぎ	0.9 ha	0 ha	水稻、たまねぎ	0.9 ha	0 ha	K1
28 利用者		水稻	0.9 ha	0 ha	水稻	0.9 ha	0 ha	T1
29 利用者		水稻	1 ha	0 ha	水稻	1 ha	0 ha	U1
30 利用者		水稻、イタリアン、飼料用米	1.2 ha	0 ha	水稻、イタリアン、飼料用米	1.2 ha	0 ha	D1
31 利用者		水稻、イタリアン	1.1 ha	0 ha	水稻、イタリアン	1.1 ha	0 ha	L1
32 利用者		水稻	0.7 ha	0 ha	水稻	0.7 ha	0 ha	L2
33 利用者		水稻、たまねぎ	0.7 ha	0 ha	水稻、たまねぎ	0.7 ha	0 ha	M2
34 利用者		水稻、たまねぎ	0.6 ha	0 ha	水稻、たまねぎ	0.6 ha	0 ha	P1
35 利用者		水稻	0.6 ha	0 ha	水稻	0.6 ha	0 ha	S1